

**製品名: LAMP2 (4P12) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe13209**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LAMP2
別名	LAMPB; CD107b; LAMP-2; LGP110;
遺伝子 ID	3920.0
SwissProt ID	P13473
免疫原	ヒト LAMP2 の合成ペプチド

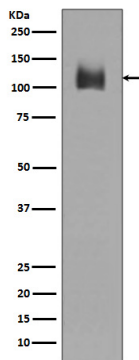
**背景**

リソソーム関連膜タンパク質 2 (LAMP2、同義語: LAMPB、CD107b) は、膜糖タンパク質ファミリーの一員です。この糖タンパク質は、セレクトリンに糖鎖リガンドを供給します。LAMP2 は腫瘍細胞の転移に関与している可能性があります。また、リソソームの保護、維持、接着にも機能している可能性があります。翻訳後修飾を受ける前のリソソーム関連膜タンパク質 2 (LAMP2) は約 45 kDa のポリペプチドです。シャペロンを介したオートファジーにおいて重要な役割を果たします。オートファジーは、様々なストレスに応答して、また長い生物学的半減期を持つタンパク質の正常な代謝回転の一環として、リソソームにおけるタンパク質分解を媒介するプロセスです (PubMed:8662539, PubMed:11082038, PubMed:18644871, PubMed:24880125, PubMed:27628032) 。 GAPDH や MLLT11 などの標的タンパク質に結合し、リソソーム分解の標的とすることで機能します ( PubMed:8662539, PubMed:11082038, PubMed:18644871, PubMed:24880125) 。 飢餓に応答してリソソームタンパク質分解にも関与します (類似性による) 。 オートファジーにおけるオートファゴソームとリソソームの融合に必要 (PubMed:27628032) 。 LAMP2 を欠損した細胞は VAMP8 を正常レベルで発現するが、オートファゴソーム上に STX17 を蓄積できない。これがオートファゴソームとリソソームの融合が起こらない最も可能性の高い説明である (PubMed:27628032) 。 オートファゴソーム内容物の正常な分解に必要 (PubMed:27628032) 。 リソソームタンパク質分解における機能を介して、MHCII を介した外因性抗原の効率的な提示に必要。エンドソーム/リソソーム区画内のプロテアーゼによって生成された抗原ペプチドは、新生 MHCII サブユニットによって捕捉される (PubMed:20518820) 。 MHCII を介した内因性抗原の効率的な提示には必要ではない (PubMed:20518820) 。

## 研究分野

タグとセルマーカー

## 画像データ



JAR 細胞溶解物中の LAMP2 発現のウェスタン ブロット解析。